

## TOPICS4 当院リハビリテーション技術紹介

当院リハビリテーション技術部は入院、外来、訪問、通所にて脳血管障害・骨折等の運動器疾患を対象にリハビリテーションを行っています。スタッフは総勢90名と多く、「心豊かに生きがいのある暮らしを送れるようにその人らしさを大切にしたりハビリテーションを提供する」を理念とし地域でのリハビリテーションを担ってきました。



### 理学療法科紹介

身体の運動機能の回復や維持を目的とする専門分野です。身体機能の回復力を最大限に引き出し、再発防止や機能の維持を促進するために、筋力強化、関節可動域の改善、姿勢矯正、歩行訓練などを行い、痛みの軽減や動作の改善を図ります。

### 作業療法科紹介

対象者の生活に関わる専門家です。日常生活動作や家事動作、仕事などの生活行為の再開のために、身体機能や認知機能、高次脳機能の改善を図ったり、直接的に生活行為に対する訓練・指導を行っています。

### 言語聴覚療法紹介

コミュニケーションや嚥下障害などの口に関するリハビリを行う専門職です。スタッフは11名と回復期病院単体としては人数が多く、その分患者さま一人一人に時間が掛けられるのが特徴です。

## Information

### 【交通アクセス】

〒194-0202

東京都町田市下小山田町1491



#### ■多摩センター駅から

- ・無料送迎バス：所要時間 約10分
- ・京王バス：所要時間 約20分  
11番乗り場 (多43) (多45)  
下車：多摩丘陵リハビリテーション病院

#### ■町田駅から

- ・神奈中バス：所要時間 約25分  
町田バスセンター 14番乗り場  
(町31系統) 終点下車

#### ■東名高速

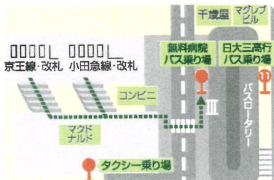
横浜・町田I.Cより 約35分

#### ■中央高速

国立・府中I.Cより 約25分

#### ■小田急多摩センター駅

- ・タクシー乗り場



### 【病院概要】

診療科目 リハビリテーション科

訓練時間 毎日(土日・祝日含む) 8:50~16:30

※治療時間中の各訓練見学は可能です。

病床数 117床

### 【入院相談について】

リハビリテーション目的での入院希望の方には予約制での入院相談を行っています。

### 【入院相談窓口】

医療福祉相談室  
☎ 042-797-1214

### 問合せ

☎ 042-797-1701 (代表)

### 【ホームページ】

<https://www.tamakyuryo.or.jp/rehabilitation/>



発行：幸隆会 広報委員会

生きる力を支えあい、ぬくもりのある医療と看護を提供します

# たまきゅうリハ便り

2025.1

多摩丘陵リハビリテーション病院広報誌 第3号

# 謹賀新年



## TOPICS1 理事長 年頭所感

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

多摩丘陵リハビリテーション病院と多摩丘陵病院はそれぞれ2023年、新病院として新たなスタートを切り、今年で3年目を迎えます。この間、地域の皆さまや関係者の皆さまから多大なご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨今、科学技術の発展はめざましく、生成AIが様々な分野で活用されるようになりました。医療の現場でもAIを活用することで、業務の効率化や診断精度の向上、医師の負担軽減、医療過誤の防止などが期待できます。われわれの施設でもAIの有用性を認識して導入に向けた取り組みが必要と考えています。

一方、医療業界を取り巻く環境も大きく変化しています。コロナ禍に続き、医療経済も厳しい状況にあります。昨今の物価上昇や諸経費増加に対し、健康保険制度に基づく診療報酬が追いついていないのが現状であり、多くの医療機関が困難な経営状況に直面しています。2025年は巳年(みどし)です。巳は脱皮を繰り返しながら成長していくことから、「新たな挑戦」や「変化による発展」を象徴するとされています。これにちなんで私たちも直面するいくつかの困難を乗り越えるべく、変化を前向きに受け入れ、一步一步着実な成長を遂げる一年にしたいと考えています。

私たち医療法人社団幸隆会は、「生きる力を支えあい、ぬくもりのある医療と看護を提供します」という理念のもと、全職員が一丸となり、患者さまに信頼される病院づくりに努めてまいりました。この理念を今一度共有し、職員一人ひとりが健康で働きがいのある職場環境を整えることで、より良い医療サービスの提供を目指してまいります。

最後になりましたが、2025年が皆さまにとって健康と幸せに満ちた一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。本年も変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

医療法人社団 幸隆会 理事長 小澤 壮治



## TOPICS2 新年のご挨拶

明けまして  
おめでとうござます



昨年4月1日より、多摩丘陵リハビリテーション病院の院長を拝命しております。米川甫 前院長の後任として、引き続き地域の皆さまに信頼される医療提供を目指してまいります。

当院は、リハビリテーション科単科の回復期病院として、隣接する多摩丘陵病院と連携し、脳卒中や外傷などに対応するリハビリテーション医療に取り組んでおります。昭和57年に開院いたしましたが、平成7年には総合リハビリテーションの認可を受け、法人の理念である「ぬくもりのある医療」を実践してまいりました。これもひとえに地域の皆さまや医療機関の皆さまからのご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

当院の主軸は117床の入院リハビリテーションですが、昨年からは患者さまや医療機関のニーズに直ちにお答えできるように、入院のお問い合わせをいただいた当日に回答できるように体制を整えました。一方で、昨年末に新型コロナウイルス感染症の影響により入院対応が遅延したことは申し訳なく、ここにお詫び申し上げます。

また従来、入院治療のみならず、通院での疾患別リハビリテーション、介護保険適用の通所や訪問リハビリテーションにも注力しております。さらに昨年からは、脳卒中や脊髄損傷後の痙縮に対するボツリヌス毒素筋注治療を提供する特殊外来を新設し、多様化する患者さまのニーズに応えるべく、新たな取り組みも進めております。

本年も職員一同、全力を尽くして患者さまの健康とQOLの向上に貢献してまいります。どうぞ変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げるとともに、本年が素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

多摩丘陵リハビリテーション病院 院長 岡島 康友



## TOPICS3 リハビリテーション科 医師のご挨拶

### 藤井 智恵子

ダイバーシティ（多様性）、サステナブル（持続可能な）、これら二つの言葉は、現代社会で様々な分野で声高に言われていますが、私にとっても日々頭に浮かんでくる言葉となっています。実に多様性に富む病院を、持続可能なものにするにはどうすべきか。さまざまな価値観を広く受け入れる必要はありますが、どのように配慮すれば持続可能な結果につながるのだろうか。今年も、一つでもよいので何か解答を思いつける様日々精進する次第です。

### 金子 雅俊

新年あけましておめでとうございます。2023年5月より多摩丘陵リハビリテーション病院としてスタート以降、2度目の新春を迎えることができました。2024年4月からは岡島新院長をトップに新体制が始まりました。今年も感染症対策を十分注意しながら、頑張る所存です。

### 山片 敦

新年あけましておめでとうございます。2025年が皆さまにとって幸多き1年であります様に心よりお祈り申し上げます。2023年5月に多摩丘陵リハビリテーション病院と多摩丘陵病院との2病院体制となりましたが、昨今は移行期の慌ただしさもようやく落ち着いて来ているように感じております。微力ながら今年も皆さまのサポートの下、前進できればと考えておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

# 謹賀新年

## リハビリテーション科 医師のご挨拶

### 藤井 浩優

新年あけましておめでとうございます。改めて地域医療の一翼を担う責任を感じている所存です。本年も「患者さま一人ひとりに寄り添う医療」をさらに深化させ、地域に根差したリハビリテーションの提供を目指します。患者さまの生活の質を高めるため、連携を深めながら個性の高いリハビリプランを提案してまいります。本年も、地域の皆さまの信頼にお応えできるよう尽力してまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

### 小山 浩永

当院にお世話になり、早いもので新しい年を迎えました。ご家族の患者さまへの愛情の深さと支えるリハビリチームの力が一体化し、医療と介護福祉の力も加わり、昭和の古き良き日本の家族像が再構築されて、幸せそうに退院される姿に魅せられた半年でした。良き家庭、豊かな心の方々が集まれる当院は半世紀に渡りその栄光を示してきたと実感しました。仁愛、温故知新をもつ当院の益々のご発展を願います。

### 原 巳津子

新年あけましておめでとうございます。回復期というのは、1日2時間から3時間マンツーマンで療法士さんに施術してもらえる患者さまにとっては、夢のようなシステムです。この大切な時間を満喫していただけるように全身管理に専心しています。たっぷり寝て栄養を取って、退院時には自分で痛みをコントロールできるようになっていただけるよう、今年も精進します。

### 杉江 正行

新年あけましておめでとうございます。縁あって、昨年10月に多摩丘陵リハビリテーション病院に赴任してまいりました。これまで、約20年間にわたり、急性期病院で臨床経験を積んでまいりました。今後は、これまでの経験や技能を活かしながら、皆さまに回復期・生活期と切れ目のない良質なリハビリテーションを提供させていただける様、より一層の精進を積み重ねてまいりたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。